

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 ~4日	9月 ~11日	9月 ~18日	9月 ~25日	10月 ~2日	10月 ~9日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	76	34	43	69	64	99	99	47	12	9	17	9	28	8
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	29	41	37	62	88	90	30	53	15	13	5	7	13	4
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	1	1	10	2	0	0	0	0	1	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	4	3	7	5	5	3	16	12	5	4	2	1	1	5
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	35	12	25	20	32	22	26	19	3	3	2	5	6 (7)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	19	10	9	19	28	9	17	18	7	1	4	3	6 (7)	0
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	3	0	0	0	1	3	4	1	4	0	0	1	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5	7	1	1	1	0	0	0	0
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	4	0	7	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第40週(10月3日~10月9日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	2	結核	2			1				1
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3					2		1
四類	4	つつが虫病	1	1						
		テング熱	1				1			
		日本紅斑熱	2			2				
五類	11	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2			1				1
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1					
		梅毒	8		1	1		4	1	1
新型コロナウイルス感染症	6,540	新型コロナウイルス感染症	6,540	772	620	504	154	2,935	289	1,266

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第40週に2,935件の報告がありました。新規感染者数は減少傾向が続いています。引き続き、マスクの正しい着用、手洗い、ゼロ密、換気など基本的な感染予防対策を徹底しましょう。

2 腸管出血性大腸菌感染症

今年の累計は23件となり、例年と比べて多い状況です。感染予防のため、肉類は十分に加熱し、生で食べる野菜や調理器具はよく洗いましょう。また、調理や食事の前、トイレの後などは、せっけんと流水で十分に手を洗いましょう。

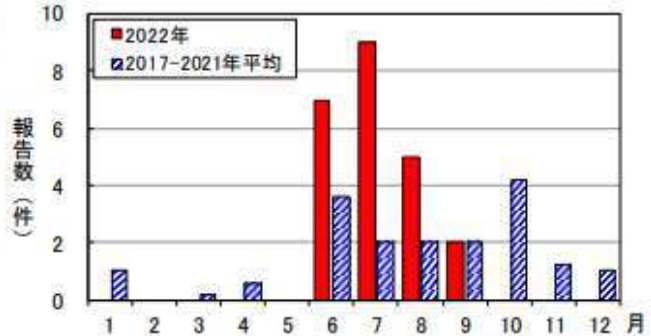
3 デング熱

1件(推定感染地域:国外)の報告がありました。デング熱は蚊が媒介する感染症で、デングウイルスに感染した患者を刺した蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他者を刺すことで感染します。2019年以前は全国で年間200件以上の報告があり、ほとんどが海外で感染し帰国後に発症した輸入症例です。熱帯や亜熱帯に広く分布しますので、流行地域を訪れる際は、長袖・長ズボンを着用し、昆虫忌避剤(虫除けスプレー)を使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう。

【参考】デング熱について(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000131101.html>

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数(広島市)

(2022年10月9日現在)



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	-	-	0.13			小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.10		
	咽頭結膜熱	3	0.14	0.21				RSウイルス感染症	14	0.64	1.02		
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.55	1.33			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03		
	感染性胃腸炎	58	2.64	2.85				流行性角結膜炎	1	0.13	0.58		
	水痘	-	-	0.18				細菌性髄膜炎	-	-	0.03		
	手足口病	19	0.86	1.34			基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-		
	伝染性紅斑	-	-	0.14				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06		
	突発性発しん	6	0.27	0.21				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	20	0.91	0.51				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	23	20歳代・O157、50歳代・O91
4	デング熱	1	1	20歳代・推定感染地域:国外
5	梅毒	4	257	20歳代・1人、40歳代・3人